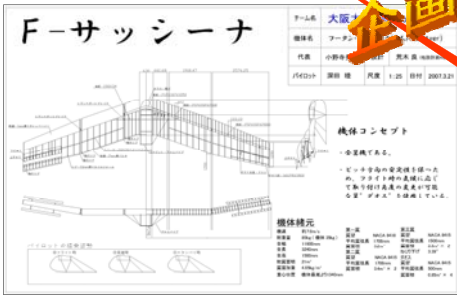


# 空いけ阪大

## 鳥人間コンテストで優勝を目指す!

はじめまして! 私たちは鳥人間コンテストに参加して優勝することを目標として集まったプロジェクト「空いけ阪大」です。鳥人間コンテストでは、10mの高さのフラットホームから琵琶湖に向けて自作飛行機を飛ばし、その飛行距離や速度を競います。大きく分けて「人力プロペラ部門」と「滑空機部門」があり、私たちは「滑空機部門」のフォーミュラクラスに出場しています。私たちは2006年大会で初出場し、2007年大会では審査員特別賞をいただきました。

プロジェクト始動



設計

設計の実証

アイデアをまとめて飛行機の外形を決定し、その奇抜な飛行機が理論的に飛ぶように設計を行います。

設計した機体が実際に飛ぶことを、模型実験とシミュレーションプログラムで実証します。私たちは、無尾翼飛行機用のシミュレーションを独自開発しました。

私たちは無尾翼機を作ることをモットーにしています。無尾翼機は安定性が低い。その反面、尾翼がなく胴体も小型化できるので、空気抵抗を極限まで減らせる可能性があります。

機体製作

テストフライト



鳥取砂丘で実際に飛行機を飛ばし、データをとりまします。

鳥人間コンテスト

### これまでの実績

#### 2006年



初参加となった2006年大会の機体「鳥男」。とにかく斬新な飛行機をつくるというコンセプトで設計された。この機体は前進翼無尾翼をもつ他のチームには全くない個性をもっており、大会会場でも注目度は抜群でした。しかし、強度不足のため、テイクオフ直後に大破。飛行距離は22.69mと不本意な結果に終わりました。しかし、私たちは確実な第一歩を踏み出しました。

#### 2007年



2007年大会の機体「F-サッシーナ」。上の写真はダオスシステム。このシステムによって、安定性が向上した。飛行距離は37.3mでしたが、ダオスシステムが評価され「審査員特別賞」を受賞しました。

### 2008年大会に向けて

現在2008年大会に向けて飛行機を製作中です。もちろん、機体はよりユニークに、阪大らしく設計しました。今回の飛行機も、もちろん「無尾翼機」。また航空ベニヤという特殊なベニヤとスプルーという木材を利用し、機体の大部分を木材で作るといった挑戦をしています。



<http://albatross.dip.jp>